◆はじめに　URC 設立３０周年を迎えて　安浦寛人理事長あいさつ

本年8月1日で，福岡アジア都市研究所は30周年を迎えることになりました。

これもひとえに賛助会員の皆様をはじめ、地域の皆様のおかげによるものであり、紙面を借りてここに深く感謝を申し上げます。

昭和63年に産学官民の協力・連携のもと、福岡市の中・長期的な都市戦略を考える地域の研究機関として福岡市の全額出資の財団法人福岡都市科学研究所として設立され、平成16年には、アジア交流の拠点機関の一つであった財団法人アジア太平洋センター（平成4年設立）と統合し、都市研究とアジアネットワーク形成の両機能を有する財団法人福岡アジア都市研究所として再出発しました。その後、平成24年には公益法人への移行を果たし、現在に至っております。

当研究所は、これまで福岡の発展につながるまちづくりのシンクタンクとして、都市政策、福祉、まちづくり、国際交流、環境、観光など様々な分野に関する研究事業、また、都市政策に必要な情報の収集・分析・加工、セミナー開催・刊行物の発行などの情報発信事業、福岡アジア都市景観賞などのアジアネットワーク形成事業、さらには福岡地域戦略推進協議会(FDC)の活動支援などに取り組んでまいりました。

この30年間、国内においては、人口構造の急激な変化に伴う少子高齢社会への移行、グローバル化や情報通信技術の発展など、私たちを取り巻く社会の変化は著しく、今までの経験だけでは先の見えない、予測の難しい時代となっています。

福岡市の30年を振り返ってみましても、「アジア太平洋博覧会」「ユニバーシアード福岡大会」「世界水泳」などの国際的なイベント開催、地下鉄・都市高速道路等インフラ整備やハード施設整備など都市としての機能を充実させ、人口も157万人を超えるまでになりました。また、コンパクトで住みやすい都市として、国内外の高い評価を得ています。一方、他都市よりも遅れながらも少子高齢化も確実に進展しており、生産年齢人口の減少という課題に今まさに直面しつつあります。

当研究所においては、このような変化の中で、福岡市がどのような都市を目指すのか、福岡市の都市戦略の方向性について、長期的な視点や客観的な視点に立ち、様々な調査研究を行い、提案を行っているところです。これらの調査研究が、福岡市や福岡都市圏の発展に貢献し、豊かな市民生活と活力のある都市の構築に役立つことを目指して事業に取り組んでいます。

今後とも、市民の皆様に役立つ事業に取り組み、皆様の期待に応える福岡のシンクタンクとして使命を果たすよう職員一同全力で取り組んでまいります。

皆様方におかれましては、今後とも当研究所へのご支援、ご高配をお願いいたしますとともに、当研究所への忌憚のないご意見、ご要望をいただきますようお待ちしております。

◆ＵＲＣ資料室ニュース

平成30年度　第1回　ナレッジコミュニティ

「都市政策資料室からみた福岡市の３０年」参加者募集中！

8月1日、当研究所の前身である財団法人福岡都市科学研究所が設立されてから30周年を迎えました。

そこで、今年度のナレッジコミュニティでは、福岡市のこれまでの 30 年の変化を様々な切り口で振り返るシリーズを、４回に分けて行うことにいたしました。

シリーズの第１回目は、都市政策資料室の司書が「都市政策資料室からみた福岡市の 30 年」について報告し、ゲストスピーカーにこれまでの URC を振り返ってコメントをいただきます。その後、ご参加の皆さんに、福岡市が「地方最強都市」と言われるようになったキーポイントや、キーワードについて考えていただき、これからの福岡市の方向性について話し合っていただきます。

終了後は懇親会(￥4,000 程度)を予定していますので、お気軽にご参加ください。

＊ナレッジコミュニティのみのご参加は無料です。

【日　時】平成 30 年８月 10 日（金）
18：30～20：00（受付開始 18：15）
報告・ゲストスピーチ・ディスカッション

【会　場】福岡市研修室　402・403 研修室
福岡市中央区天神 1-6-8　天神ツインビル４階

【定　員】50 名　※先着順受付

【お申し込み】E メール(library@urc.or.jp)または FAX(092-733-5680)で、　①氏名・②所属・③電話番号・④E メールアドレスをご記入のうえ、お申し込み下さい。

（メール件名:平成 30 年度　第１回 URC ナレッジコミュニティ参加希望）

【締め切り】８月８日（水）必着です。

＊懇親会への出欠についても明記してください。

（山崎三枝　都市政策資料室司書）

◆ＵＲＣニュース

①2018 年アジア都市景観賞の合同審査会が福岡市赤煉瓦文化館で行われました！

国内外専門委員の皆様

2018 年アジア都市景観賞は、４月１日から募集開始、アジア８か国から計 49 件（日本６件、中国 28 件、韓国 8、東南アジア７件）の申請があり、各国・地域での検討過程を経て、最終的に７か国 18 件が７月 21 日、福岡赤煉瓦文化館での合同審査会に提出されました。

主催団体及び国内外専門委員の皆様による合同審査の結果、11 件がアジア都市景観賞、４件がアジア都市景観賞審査委員賞に内定しました。日本からは右記の４件がアジア都市景観賞に内定しました。

授賞式は、10 月 15 日、16 日に中国の銀川市で行われる予定です。授賞された関係者の皆様、大変おめでとうございます。

＊日本

【アジア都市景観賞】

香川県	「瀬戸内国際芸術祭」
福岡市	「福岡アイランドシティ照葉のまちづくり」
女川町	「東日本大震災からの復興事業『海を眺めて暮らす女川のまちづくり』」
松山市	「松山城の自然・歴史と俳句文化が融合した現代の城下町」

＊海外

【アジア都市景観賞】
韓国　３件、中国　３件、ベトナム １件

【アジア都市景観賞　審査委員賞】
韓国　１件、中国　１件、アフガニスタン　１件、フィリピン　１件

合同審査会の様子

写真：URC 撮影（嶋岡和久　主任研究員）

②平成３０年度・第１回 都市セミナー 「住みやすく 働きやすい 都市『福岡』のしくみを考える」を開催しました。

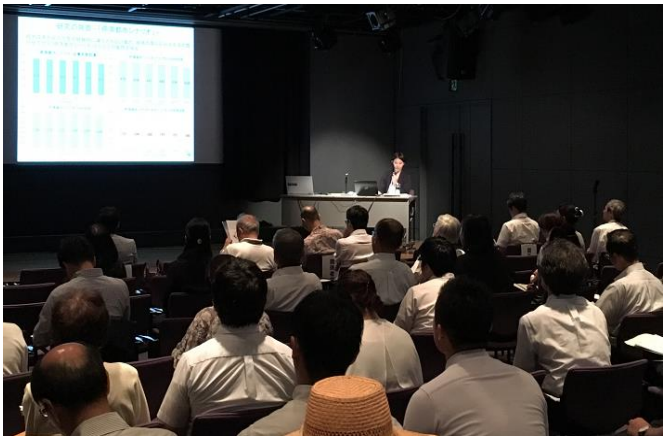
平成３０年７月１９日(木)、福岡アジア美術館「あじびホール」にて、平成３０年度第１回都市セミナー「住みやすく 働きやすい 都市『福岡』のしくみを考える」を開催しました。今回のセミナーでは、まず福岡市の荒瀬副市長により、「超少子高齢社会 ～輝き活躍する女性たち～ 」と題し、高齢者福祉や子育て支援の話を中心に、福岡市の施策及び今後の展望について、基調講演を行いました。

続いて、当研究所の中村研究員により、平成２９年度総合研究「福岡市における生産年齢人口の減少を見据えた施策展開に関する研究」の成果報告を行ないました。将来においても、福岡市が生活の質の向上と都市の成長を維持し、活力のある都市であり続けるために必要な施策の方向性について報告しました。

次に、世界でも注目され、数々の受賞歴をお持ちの起業家として活躍されている㈱しくみデザイン代表取締役の中村俊介氏により、「大人も子供も“ＨＡＰＰＹ”なしくみを創る」と題した講演を行って頂きました。「KAGURA」という大変ユニークな楽器アプリの実演を交えたお話しや、子供向けのクリエイティブ教育についてお話頂きました。

最後は、女性と企業の仕事をマッチングする人材サービスの会社で、福岡オフィスの代表としてご活躍されている㈱Ｗａｒｉｓ代表取締役/共同創業者の河京子さんに「女性が活躍するしくみを創る」と題してお話し頂きました。

様々な経歴の方々の興味深いお話に、会場の参加者も熱心に聞き入っていました。



中村研究員による平成 29 年度総合研究「福岡市における生産年齢人口の減少を見据えた施策展開に関する研究」の成果報告

写真：URC 撮影（山本美香　主任研究員）

③国際研修受入報告

2018 年 6、7 月、中国から 2 団体、韓国から 12 団体、タイから 2 団体、台湾から 1 団体、合計 4 か国・地域、17 団体、305 名が福岡市の取り組みを学ぶために来福しました。

視察は、アイランドシティ、防災センター、中部水処理センター、山王公園雨水調整池、ベジフルスタジアム、市民福祉プラザ、老人福祉センター、シルバー人材センターなどの施設で行われました。各視察団は、自分たちが抱えている問題に対する解決策を探るために、熱心に視察研修プログラムに参加していました。

視察研修は、福岡市の住み良い街づくりに関する取組みが紹介されました。福岡市は過去渇水や洪水の発生、廃棄物処理、交通渋滞など様々な都市問題を経験して来ましたが、これらの都市問題が今大きな問題になることはありません。その理由は、福岡市が日本で初めて 1961 年マスタープランを作り、長期的な展望で街づくりを進め、その過程でさまざまな技術やノウハウを培ってきたからです。

福岡市の危機管理対策に関する研修を受けている韓国の大田世宗発展研究院

長年続いてきた都市問題が、短期間で解決できるとは思いませんが、福岡市のまちづくりの技術が視察研修参加者各々の都市問題を解決する鍵となることを期待します。

写真:URC 撮影(李英雄　国際視察研修担当)

④◆会員研究員募集のお知らせ！

当研究所では、「会員研究員受入事業」を実施しています。会員研究員を「賛助会員」及び「福岡市職員」から募集しており、持ち込みのテーマを当研究所で研究していただくものです。当研究所が持つ有識者ネットワーク、資料アーカイブを活用でき、また、研究スタッフによる助言などを受けることができます。

なお、会員研究員は、随時募集しておりますので、申込みを希望される方は、「会員研究員申込書」及び「確認事項」をご提出下さい。なお、法人会員の方は「推薦書」の提出も必要となります。推薦書に特定の様式はありませんが、所属長名での推薦文書の提出をお願いします。

詳細内容、申込書の様式等は、以下のページをご参照下さい。http://urc.or.jp/kaiin

問い合わせ・申込み先：info@urc.or.jp

（山本美香　主任研究員）

◆今月のおすすめ/書評

『地域創生のプレミアム（付加価値）戦略―稼ぐ力で上質なマーケットをつくり出す』

山﨑 朗/鍋山 徹【編著】（中央経済社 ¥2,600＋税）

第 1 章 なぜいま地域創生のプレミアム戦略なのか
第 2 章 地域創生につながるプレミアム・マーケティング―地方における中小企業の挑戦
第 3 章 ななつ星に続け
―クルーズ列車と D&S 列車による地域創生
第 4 章 公共空間の再生を通じた東京のプレミアム化
―世界都市の条件
第 5 章 観光のプレミアム戦略
―インバウンド 6,000 万人に向けて
第 6 章 第 4 次産業革命をプレミアム革命に
―IoT と人工知能
第 7 章 日本酒と焼酎のプレミアム化への挑戦
―シンクロする味と香り
第 8 章 “志民”が進める「まちなか」のプレミアム化
―地域文化の継承・創出
第 9 章 里山・里海を守れ!
―生き残りを賭けた条件不利地域のプレミアム化戦略
第 10 章 グローカル教育のプレミアム展開
―多様性 がもたらす意識変革
第 11 章 プレミアム地域創生の実現に向けて

「地方創生」とは、「2014 年 9 月発足第 2 次安倍政権で掲げられた、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策である」とされています。2014 年以降、「地方創生」に関する著作はすでに多数出回っています。このようななかで、本書は「地方創生」をあえて「地域創生」と表現しています。編著者の一人の山﨑朗氏は、「政府の唱道する地方創生は、東京対地方の格差是正を強く意識した政策である。だが、東京都の郊外では人口減少が始まっており、東京都においても人口減少・少子高齢化という問題に対する地域的対応策が求められるようになっている。」と論じています。本書では、東京を含む日本全国の「地域」を対象に、それぞれの「地域の稼ぐ力の実現」＝RRP：Realization of Regional Potentials を地域のプレミアム化によって実現するための具体的な戦略が提言されています。

全 11 章からなる本書の中から、ここではとりわけ福岡市の政策に関して示唆に富む 2 章を紹介します。第 5 章「観光のプレミアム戦略」では、増加する訪日外国人の質的な限界を指摘し、「上客」のさらなる誘致の必要性とその方策について論じています。その一例として、アジアにおける日本の北米との近接性に着目し、日本各地域の潜在的な優位性を活かしながら北米富裕層の取り込みの可能性を指摘しています。

第 6 章「第 4 次産業革命をプレミアム改革に」では、IoT や AI 技術を地域に組み込み、ビジネスや地域サービスとして展開する手法について論じられています。「第 4 次産業革命」と呼ばれる最新技術を駆使し、バーチャル空間とリアル空間を融合した次世代の「超スマート社会」を日本政府は Society 5.0 と規定し、その実現に向けた施策を展開しようとしています。当研究所においても、Society 5.0 を如何にして福岡市に実装していくかについての研究がはじまりつつあります。産業基盤において ICT 産業への特化が強い福岡市では、いちはやいローカルな Society 5.0 の実現への期待が高まります。本章では「第 4 次産業革命」における情報の「可視化」の機能に着目し、これまで明らかにされていなかった情報の加工や組み合わせによる新しい産業やサービスの在り方について多くのヒントを提示しています。

猛暑が続きますが、夏休みはエアコンの効いた部屋でゆっくりと読書にふけるのも良いかも知れません。本書の気になる章を是非とも一読してみてください。

（久保隆行URC フェロー（立命館アジア太平洋大学准教授））

◆所員雑感：中朝国境の町東港を訪ねて

6 月末、私用で中朝国境の町東港に旅行してきました。テレビでおなじみの丹東市中心より南 45km に位置する東港市は、2015 年に高速鉄道が開通し、大連から列車（時速 200 キロ―）に乗って 2 時間で着く漁業と水産加工業が盛んな田舎町です。1990 年代そこを訪れた時に真っ暗なヒラメ養殖工場に連れていかれましたが、現在ヒラメの出荷が芳しくないと聞き、地元のお母さんたちが働いているアサリ工場を見せてもらいました。ここでも高齢化や人手不足が深刻化していて、働き手の確保に頭を悩ましているようです。

お昼は町の海鮮レストランに招待されました。採れたての魚介類が店頭の水槽にいっぱい積まれており、日本人が好きそうな天然トラフグも泳いでいましたが、処理技術に不安があるので、貝類に専念しました。殻つきのうにや殻つき牡蠣、そして赤貝を生のままで賞味し、松露酒（マツタケ風味の焼

酎）で乾杯しながら、巻貝の紹興酒山椒漬け、あげまきの葱生姜炒め、ほら貝の辛みそ炒め、バカ貝の大根スープなどを思う存分堪能しました。

昼食後に、町の東側に流れる鴨緑江河口の大東港という港に行きました。韓国のフェリーや日本の貨物船が定期的に入港しており、日本のスーパで売られている中国産アサリの大半がそこから出荷していると察します。また、この地方の名物であるバカ貝の乾物は韓国で大人気のようで、バイヤーが殺到し、昨年から供給が追い付かない状況が続いているそうです。

帰りに列車を待つ時間があったので、黄金坪を見に行きました。鉄条網越しに見えたこの北朝鮮の経済開発区はまだのどかな田園風景であり、工場らしき白い建物一棟だけが寂しく佇んでいます。ちょうど同じ頃に、北の最高指導者がすぐ近くの農場を視察していたことを帰国後にニュースで知りました。

写真:撮影・執筆　（唐寅　主任研究員）

◆特別寄稿　＊一人一花の楽しみ＊　第6回　8月　蓮(はす)

昭和63年8月1日、福岡アジア都市政策研究所が福岡市のシンクタンクとして誕生した日、今年で30周年を迎える。おめでとうございます！福岡市長は3回替わり、多くの政策が検討実施された。30年間、アジア、世界に向けて発展する未来都市：「福岡市」を陰で支えている研究所。

30年の歴史を見守っている司書が健在なのもとても嬉しい。彼女はＵＲＣを「うれしー」と呼びたいと微笑む。多くの市民研究員を受け入れ、それぞれのテーマで研究できる開かれたラボだ。資料室には蔵書や関連資料がきちんと整理され、市民向けに貸し出しもされている。諸々頼もしい場所である。

例えば、福岡市が提唱する「一人一花運動」も根っこはここからの提言かも？と思ったりもする。

157万人の市民が一花を育てると福岡は157万本の花溢れるフラワーシティになる。何とも驚きだが判り易い施策。8月の猛暑、ギラギラ酷暑の照り返りをさらりと受け、涼しげに咲く「蓮」。

8月の一花は「蓮」をお届けしたい。インド原産の湿地帯で育つ水生植物。ハス科、ハス属で英名はロータス、和名は花托が「蜂巣」に似ていることから「ハチス→ハス」とか？「水芙蓉」とも呼ばれる。約1億4000万年前から地球上に存在している。日本では弥生時代に遡る。蓮と睡蓮を総称して「蓮華」と云い、「妙法蓮華経」など宗教的な意味合を持ち、極楽浄土に咲く花として慈しまれている。インド・スリランカ・ベトナムの国花。品種は花を観賞する花蓮と食用蓮（蓮根）に大別されるが、根から茎、葉、花まで食せる貴重な品種である。ハーブ茶に類する花蓮茶は高貴なイメージで独特の風味がたまらなく美味しい。美容効果も高く、ほろ苦いが後から何とも言えぬ甘味が優雅だ。

舞鶴公園お濠の風景

僧正遍照の「蓮葉のにごりに染まぬ心もてなにかは露を玉とあざむく」は、蓮の特性と人の生き方を連想させる奥深い教えがあるようで･･･　清々しく、自浄作用でたおやかに生きたいと願う。

7月の誕生花、花言葉は「泥より出でて、泥に染まらず」の通り「清楚・清らかな心」「神聖」。福岡では舞鶴公園のお堀の蓮が有名。いつ頃からお堀に咲いているの？福岡の歴史を、戦後の人達や暮らしをどのように見ていたの？8月のお盆にはお濠の花達に合掌し尋ねてしまう。

花の見ごろは午前中。早いほど美しい花姿を見せてくれる。雨後の葉で揺れる銀色の水玉も大好きだ。一方、「オオオニバス」は夜に咲く。「夜の植物園」は毎年大人気の夏イベントで中学生以下は無料♪今年も孫を連れて行かニャイト！都心部で花や緑を楽しめる福岡に感謝！

「蓮」の魅力は書き尽くせないほど･･･　御免なさい！意外と簡単、楽しい育て方は次回に。これもまた、結構お伝えしたい目からウロコなことが多くて、長くなるので･･･

写真：福岡市提供　執筆:福博:花まち研究会会員　きむらみえこ（環境演出家Ⓡ）

◆URC メディア紹介情報ー最近１か月の情報を中心にー

◎新聞

(2018/8/2 西日本新聞 夕刊 7 面)
講演会　●第１回　福岡アジア都市研究所(URC)ナレッジコミュニティ
URC 主催のナレッジコミュニティの開催予告

(2018/7/31 西日本新聞 朝刊 20 面)
ドローン使い合同救助訓練　福岡市と民間団体
FDC が参加する「九州ドローンコンソーシアム」の活動が紹介される。

(2018/7/28 河北新報 朝刊 25 面)
美術鑑賞　子どもの視点を/十和田で保育士ら研修会/市現代美術館/議論生かしマップ刷新へ
市民研究員 OB 藤浩志さんが鑑賞法を講義

(2018/7/27 西日本新聞 朝刊 23 面)
災害時にドローン活用　福岡市と民間団体が協定
FDC が支援する九州ドローンコンソーシアムが福岡市と協定を締結

(2018/7/26 四国新聞 朝刊 15 面)
週刊アート情報　木曜倶楽部/27(金)～2(木)
◎美術館・資料館
高松市コンテンポラリーアート・アニュアル vol.07/つながりかえる夏
市民研究員 OB 藤浩志さんが加わる作品展及びトークとディスカッション開催予告

(2018/7/23 ガスエネルギー新聞)
柴山ガス室長が講演、第５回瓦斯自由化シンポ
FDC 石丸修平事務局長が講演　FDC が紹介される。

(2018/7/22 西日本新聞 朝刊 1 面)
留学生　福岡経済潤す　波及229億円　屋台の4倍　市外郭団体16年度試算　9割就労　違法状態も
URC の個別研究が紹介され、岡田允前特別研究員がコメント

(2018/7/18 日本食料新聞 4 面)
福岡商工会議所など、地域経済振興で展示会を 10 月開催
九州の食を発信
FDC が主催団体の１つを務める FOOD　EXPO KYUSHU の開催予告

(2018/7/17 西日本新聞 朝刊 28 面)
「5 時から男」街を泳ぐ　地方公務員最前線　①変わる仕事と役割　官民の垣根　自在に越え　2019 統一選に向けて
中島賢一調整係長が紹介される。

(2018/7/6 建設通信新聞 8 面)
再掘削は 18 年夏着手/七隈線建設時技術専門委
樗木武前理事長が委員長を務める委員会の開催報告

(2018/7/5 長崎新聞 朝刊 9 面)
物流　年間利益 2253 億円　日韓トンネル利用・収支予測
野田順康特別研究員の試算が紹介される。

◎テレビ

(2018/7/27 RKB 毎日放送 今日感テレビ)
特集 1：田畑のゴゴイチ　～ナイトアクティブでインバンドを取り込め～外国人の着物体験
URC　OB 柳基憲さんが出演　着物姿を披露

(2018/7/18 TNC テレビ西日本ももち浜Ｓ特報ライブ)
URC　OG 山下永子さんがお中元についてコメント

◎ラジオ

(2018/7 毎週金曜日 18:00~18:25 ローカルラジオ放送コミュニティラジオ天神(コミてん) スポガで Ready　Bowl!!)
市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。
＊吉田勝さんのパーソナリティは7月で最後になります。長い間お疲れ様でした。

編集後記

今年の夏は特別に暑いですが、皆様いかがお過ごしですか？

８月１日 URC は設立３０周年を迎えました。最初から（実際には最初以前から）いるのは私だけで、設立当時の URC をよくご存じの副理事長に背中を押されて今回のナレッジコミュニティ開催になりました。初めてのスピーカー。裏方がどんなに気楽だったかわかり、ミニセミナーからこれまで４２回の講師の皆様に改めて深く感謝しています。

また、３０周年を迎えるまで居られたのは、都市政策資料室や私に根気よくかかわってくださった皆様のおかげだと、心から御礼申し上げます。この感謝の気持ちを、少しでもお伝えできたら嬉しいです。ただ今発表原稿の作成に励んでいます。どんな発表になりますやら、お楽しみに！

木村さんの今月の一花は「蓮」。いつもタイムリーな花をご紹介くださり、ありがとうございます。暑い中健気に咲く様子が神々しく、花が開く時の音も聞いてみたいです。

この頃、日大アメフト部の悪質タックル事件から、スポーツ界の不祥事が明るみに出ています。指導の過程では、絶対服従の上下関係が強要されるようで、これが日本のスポーツ界の実態かと思うと心が痛みます。それでも、明るみに出たことが良いきっかけとなり、心身ともに健全な指導方法が確立されることを切に願っています。

北別館北側の窓から見える風景は、天神ビッグバン第一号である「天神ビジネスセンタープロジェクト」の建設工事で、着々と進行中です。西日本ビルもなくなり、福ビルやスクランブル交差点が良く見え、私の今だけの楽しみです。

酷暑の日々、どうぞご自愛ください。（崎）

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館６階　TEL：092-733-5707 FAX：092-733-5680　e-mail：library@urc.or.jp

（公財）福岡アジア都市研究所　都市政策資料室

＊＊＊ 資　料　速　報　平成30年7月受入分 ＊＊＊

図書資料			
登録番号	**書 名 1**	**著者名1**	**出版年月**
201800053	基礎自治体マネジメント概論	西川太一郎	2018年5月
201800054	九州廃校サミット 第1回開催レポート ONE KYUSHU Fc	九州廃校サミット事務局	2018年6月
201800055	ITSが拓く地域経済活性化	九州経済調査協会	2018年3月
201800056	盤谷日本人商工会議所 2018-JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE,BANGKOK JCC 2018－Fc	盤谷日本人商工会議所	2018年6月
201800057	日本の海運　SHIPPING NOW 2018-2019	日本海事広報協会	2018年7月
201857280	新規開業白書 2018年版	日本政策金融公庫総合研究所	2018年7月
201857281	公共R不動産のプロジェクトスタディー公民連携のしくみとデザインー	公共R不動産	2018年6月
201857282	福岡の正解 BRUTUS 行きたくなったら、ごめんなさい。福岡ガイド決定版	マガジンハウス	2018年7月
201857283	都市データパック 2018年版－全国のまちの動きを伝える 全国814市区の実力がわかる 特集：要支援・要介護認定率・介護保険料「住みよさランキング」2018	東洋経済新報社	2018年7月
201857284	外資系企業総覧　2018－主要3，204社の詳細データー	東洋経済新報社	2018年7月
201857285	中国年鑑 2018 特集：＜習1強体制＞長期化へ	中国研究所	2018年5月
行政資料	**書 名 1**	**著者名1**	**出版年月**
G20120110	福岡市経済の概況 平成30年3月	福岡市経済観光文化局中小企業振興部 政策調整課	2018年3月
G20180028	たいたいBOOK 2018－福岡市がわかる1冊－見たい！知りたい！やってみたい！	福岡市情報プラザ	2018年4月
G20180049	福岡県共助社会づくり基金ニュース 平成29年度事業報告書－つながっています、ひろがっています！互いに支えあい、共に助けあう共助の動きー	福岡県NPO・ボランティアセンター人づくり・県民生活部社会活	2018年3月
G20180050	グラフで見る福岡市　平成30年版－ふくおかの街をデータで知ろう！－Fc	福岡市総務企画局企画調整部統計調査課	2018年7月
G20180051	事業概要 平成30年度	福岡市市民局生活安全部消費生活センター	2018年7月
G20180052	福岡市民経済計算 平成27年度	福岡市総務企画局企画調整部統計調査課	2018年6月
G20180053	高齢者保健福祉のあらまし　平成30年度版	福岡市保健福祉局高齢社会政策課	2018年6月
G20180054	人権問題に関する市民意識調査報告書 平成29年度	福岡市市民局人権部人権推進課	2018年7月
G20180055	福岡市の保健福祉　平成30年度	福岡市保健福祉局総務部総務課	2018年7月
国内雑誌	**雑誌名**	**特集等主な内容**	
Z20180325	a＋u－建築と都市－	アイレス・マテウス	
Z20180363	ACE建設業界	インフラ再生	
Z20180357	CASA BRUTUS	SETOUCHI CITY GUIDE 瀬戸内シティガイド 建築、アート、ローカルフードを巡る夏の旅	
Z20180352	CONTAINER AGE	ONE：マゼンタ塗装の新造船就航、北九州港で進む洋上風力基地建設 ほか	
Z20180318	Conte コンテ －共助社会づくりを応援する情報誌－	九州北部豪雨から1年～復興活動の新しいカタチ	
Z20180351	DOCON REPORT	エッセイ JR北海道の路線存廃問題を考える/岸邦宏、技術報告：北海道のサイクルツーリズム推進に向けた取り組み ほか	
Z20180319	FFG調査月報－ふくおかフィナンシャルグループー	地域と共生するFFG：長崎市～今まさに変わるまちの未来～、70th AnniversaryLogo 北九州市立大学、三菱総合研究所寄稿	
Z20180379	KANSAI空港レビュー	講演抄録：富士ドリームエアラインズの現状と課題/内山拓郎、航空交通研究会研究レポート：赴任者等を通じた観光地の集客の可能性/鎌田裕美	
Z20180350	KUMAMOTO 地方経済情報	レポートⅠ 県内企業の業況感は横這いで推移 ほか	
Z20180324	Please－旅のライブ情報誌・プリーズー	くまもとの清流、ジョイフルスポット：鹿児島であそぶ夏休み、満腹！温泉旅：初夏の陽光を浴びる宝泉寺 ほか	
Z20180390	PRI　REVIEW－国土交通政策研究所報－	調査研究から：宅地における所有者等の所在の把握が難しい土地・建物に関する調査研究（中間報告・事例編）/伊藤夏樹 ほか	
Z20180331	RESEARCH CENTRAL RESEARCH INSTITUTE NEWS & REPORT	言文一致体/山縣浩	
Z20180323	TOTO通信	移築のススメ：インタビュー 白井晟一の「顧空庵」移築録/白井原太+渡邊隆+小倉英世、ケーススタディ	
Z20180345	アジア・マンスリー	トピックス：2018～2019年の中国経済見通し/関辰一、わが国におけるインド人労働者受け入れの現状と展望/熊谷章太郎	
Z20180321	こらぼ collaboration	脂質異常症：動脈硬化の危険因子「脂質異常症を見逃すな」	
Z20180384	シティ情報ふくおか　FUKUOKA	HOT&COOL スパイシーカレー/カレーパン/担担麺/冷やし中華/アイスクリーム/かき氷・・・etc. 800号だヨ！全員集合。	
Z20180366	ふくおかの統計	定期収録内容：福岡市の人口、経済、生活、運輸、民生、環境、安全などに関する統計データ	
Z20180333	よかネット	NETWORK：東日本大震災から7年被災地の今を知る研修旅行 ほか	
Z20180367	愛知大学三遠南信地域連携研究センター紀要	論文・報告：中国・モンゴル・ロシア経済回廊における内モンゴル自治区の位置づけについて/暁敏、蒋湧、管毓淑 ほか ほか	

＊ご希望の資料がございましたらお知らせください 092-733-5707　library@urc.or.jp　8/31（金）は月末休室日です。

Z20180371	運輸と経済	移動のデザイン ほか
Z20180381	議会月報	議会のうごき：第2回臨時会、議会運営委員会、特別委員会：交通対策特別委員会、常任委員会：第1～第5委員会、附属機関等委員等推薦一覧表
Z20180354	九州の公共工事動向－公共工事前払金保証統計より－	全般の状況、発注者別請負金額、地域別請負金額、発注者別工事場所別前払金保証実績表、大型工事明細一覧
Z20180380	九州マーケティング・アイズ－KYUSHU MARKETING EYES-	道の駅の今～変わる道の駅の役割～、進化する道の駅～地方創生の拠点として～
Z20180362	九州王国－九州発、人、モノ、文化、そして経済 KYUSHU KINGDOM－	憧れは、橋の向こうに。～上天草・宇城を旅する～、大分・宇佐、戦場だった私たちの故郷
Z20180364	九大広報	現役九大生が案内する！伊都キャンパスガイド ほか
Z20180326	月刊事業構想 PROJECT DESIGN－企業活性、地方創生、イノベーション	イノベーション特集 AIの進化、本当のインパクト、浸透する人工知能、ビジネスチャンスはどこに？地域特集：秋田県 ほか
Z20180386	建築ジャーナル	死者と出会う場所-墓地・樹木葬・自然葬：建築家がﾃﾞｻﾞｲﾝする死とかかわる場所：凱風館共同墓と如来寺共同墓/光嶋裕介 ほか
Z20180369	公益一般法人	論壇：公益法人の合併について考える/江田寛 ほか
Z20180376	財界九州　ZAIKAI KYUSHU	総括2018 九州・沖縄の主要企業・経済団体 トップ人事
Z20180393	市政	新たな連携の枠組み・連携中枢都市圏構想 市政ルポ 宮崎市/地元で学び就業し、子育てできる環境づくり
Z20180389	週刊東洋経済	親の看取り方 悔いなく見送るために 親を看取った600人の本音 親の望みを聞き出すコツ 必ず知っておきたい3大延命治療の基礎知識
Z20180378	週刊東洋経済	ホテル爆増 熱狂の開業ラッシュ 2020年までに3割増！訪日外国人を争奪 無印、アパレル・・・異業種が続々参入する理由 東京、大阪、京都、福岡、札幌・・・乱立の現場
Z20180361	週刊東洋経済	発進！プログラミング教育
Z20180334	週刊東洋経済	すごいベンチャー100ビジネスヒントはここにある！
Z20180327	新建築	都市の記憶を伝える超高層ビル/藤森照信 ほか
Z20180388	新都市	まちづくり月間、特別寄稿：千葉県の都市計画史、神戸の都市計画史
Z20180356	新都市	平成30年度予算の概要
Z20180355	新都市	都市のスポンジ化への対応
Z20180330	西日本文化－CULTURAL STORY OF NISHINIHON-	福岡県の名勝庭園 天皇即位と大嘗祭-昭和の主基斎田史跡
Z20180383	専門図書館	医学・医療・健康にまつわる情報 ほか
Z20180332	早稲田社会科学総合研究	土方正夫教授、那須政玄教授古稀記念号発刊の辞/山田満 ほか
Z20180358	地域イノベーション研究	鳥取市中心市街地における高齢者の買物実態に関する基礎調査/倉持裕彌 ほか
Z20180392	帝京大学地域活性化研究センター 年報	報告の部 地域経済学科シンポジウム「がんばる栃木農業」/加瀬和俊 ほか、研究の部：東日本大震災福島県復興祈念公園 ほか
Z20180320	都市計画	埼玉を『解剖』する：埼玉から都市を考えてみた/久保田尚、埼玉の成り立ちを理解する：埼玉県における都市整備事業史/川﨑周太郎 ほか
Z20180322	都市問題	ニセ電話詐欺はなぜなくならないのか：ニセ電話詐欺－その歴史と未来-/鈴木仁史 ほか、自治体職員の働き方改革
Z20180365	徳島県の経済と産業	県勢、産業、暮らし、統計から見た徳島県の自然・社会環境
Z20180382	日経アーキテクチュア	バリアフル建築、利用者の警告 ほか
Z20180349	日経アーキテクチュア	親祭裁判　相次ぐ地震で問われるプロの責任 大阪北部地震リポート 繰り返されたブロック塀倒壊死 ほか
Z20180360	日経グローカル	博物館は変われるか 地域とつながる現場のパワーがカギに：自治体のIR誘致レース本格化 大阪、長崎が先行 横浜も有力
Z20180385	日経ビジネス	沈まぬ東京－五輪後「悲観論」からの脱却
Z20180377	日経ビジネス	オープン編集会議で考えたイノベーションは起こせる
Z20180353	日経ビジネス	ついに来た！量子コンピューター Google,IBMの野望
Z20180328	日経ビジネス	カリスマと老害－何が両者を分かつのか－
Z20180347	福岡商工会議所NEWS Fukuoka Chamber of Commerce & Industry-会員とともに、市民とともに－	消費税引き上げ・軽減税率対策はお早めに！
海外雑誌(抜粋)　雑誌名		**特集等主な内容**
Z20180359	Taiwan Panorama－全球・在地・人文 中英文國外版 台灣光華雜誌	老派時尚・経典再製
Z20180374	国際貿易	封面文章：建設服務貿易強国的戦略思考/李俊 ほか
Z20180368	所報	バンコク不動産最新動向　タイ人の日本旅行ブーム ほか
Z20180375	城郷建設	市政基礎設施規劃専題 因地制宜 践行海綿城市理念
Z20180387	新華文摘	政治：在紀念馬克思誕辰200周年大会上的講話/習近平 ほか
Z20180339	지방행정	기획특집 대통령 개헌안의 지방분권 평가 企画特集 大統領の改憲案の地方分権の評価
Z20180338	지방행정	기획특집 네트워크형 지방행정체제　企画特集ネットワーク型の地方行政システム
Z20180391	中華人民共和国国務院公報	中共中央 国務院関于全面加強生態環境保護 堅決打好汚染防治攻堅戦的意見 ほか
Z20180344	도시문제－ URBAN AFFAIRS－	기획특집 1. 2인 가구 1.2人世帯
Z20180343	도시문제－ URBAN AFFAIRS－	기획특집 도시와 화재안전 都市と火災安全

＊ご希望の資料がございましたらお知らせください 092-733-5707　library@urc.or.jp　8/31(金)は月末休室日です。